

【基本施策を推進する実施計画の事務事業】

No	総合戦略事業	事務事業名	事業の概要 (令和5～7年度)	事業の成果 (令和5年度)	施策への貢献度 (実績)	今後の課題・方向性	部局名	課名	関連事業 (決算事業別概要ページ)
1	○	伝統工芸品活用推進事業費 (コロナ克服・新時代開拓臨時交付金)	新型コロナウイルス感染症の影響などにより需要が減少している因州和紙をはじめとする伝統工芸品等について、インバウンド増や国内観光客が増加するタイミングをとらえ、知名度アップを図り、需要を喚起することにより、本市の伝統産業の事業継続につなげる。	○伝統工芸品等活用推進事業費補助金 鳥取市の伝統工芸品等の製造販売を支援するため、集客施設等事業者の購入助成を行った。 補助対象 9件 1,036,000円 ○鳥取民藝を活用した誘客事業 「鳥取民藝」をキーワードに鳥取市の民工芸品の魅力向上・情報発信を行うイベントを行い、商店街への誘客を図った。 (公財)鳥取市文化財団へ委託 委託額 2,979,915円	伝統工芸品活用推進事業費補助金は応募事業者が少なかったが、実施者からは地元の伝統工芸品を見直す良い機会であり有意義な事業であるとの評価が得られた。鳥取民藝を活用した誘客事業では、民藝をテーマとした様々なイベントを行い、中心市街地の賑わいと鳥取民芸のPRが図れた。	単発的な事業で終わることなく、各事業者、商店街関係者が連携し継続して取り組む必要がある。	経済観光部	経済・雇用戦略課	190
2	○	鳥取市ウォークラブル公共空間活用推進補助金(コロナ克服・新時代開拓臨時交付金)	まちなかの公共空間を活用するイベントの開催を支援し、中心市街地全体の回遊性・滞留性の向上を図る。	鳥取市ウォークラブル公共空間活用推進補助金 ・補助件数 2団体 ・参加者数 2,600人	2団体の取組を通じて、まちなかの公共空間の活用による効果等について確認することができた。	ウォークラブル推進都市として「居心地が良く歩きたくなるまちなか」への実現に向けて、官民連携での効果的な取組を検討、実施していく。	都市整備部	まちなか未来創造課	273
3	○	旧本庁舎跡地にぎわい創出事業費(コロナ克服・新時代開拓臨時交付金)	旧本庁舎跡地において、ウォークラブルなまちづくりやまちなかのぎわい創出に寄与するイベントを実施し広域からの集客性を高めるとともに、中心市街地の他の施設や商店街等と連携し、回遊性を向上させることで、地域活性化を図る。	イベント開催 7回 延べ参加人数 約1,500名	イベントの実施により中心市街地のにぎわい創出に寄与するとともに、飲食等提供事業者に対するイベント機会の提供につながった。旧本庁舎跡地における緑地広場等供用開始後の効果的な利活用方法を検討することができた。	イベント参加者及び出店事業者等からのアンケート結果を参考に、効果的な利活用方法を検討していく。	企画推進部	政策企画課	76
4	○	旧本庁舎・第二庁舎跡地活用検討事業費	旧本庁舎・第二庁舎跡地の活用策として示した一定の方向性に基づき、具体的な活用策の検討、設計、整備を進める。	・旧本庁舎跡地における実施設計及び測量 ・第二庁舎跡地活用に関するサウンディング型市場調査の実施 参加事業者数 2社 ・第二庁舎跡地における飲食・物販サービスの提供事業者選定に係る公募型プロポーザルの実施 参加事業者数 1社 コンビニエンスストアを選定	旧本庁舎跡地については、一定の方向性に沿って実施設計を行った。第二庁舎跡地については、緑地広場等の整備に向けた市民からの意見募集にあった「飲食・物販サービスの提供」の実現への取組が進捗した。	令和6年度 入札・契約・施工(順次実施) 令和7年度 施工、緑地広場を市民協働によりポット苗で芝生化	企画推進部	政策企画課	77
5	○	商店街にぎわい形成促進事業費	商店街の販売促進活動や異業種交流等及び来街者の利便性の向上等に向けた環境整備に係る経費を支援することにより、中心市街地の賑わい創出、産業振興を図る。	鳥取市商業振興補助金 ・活動支援事業 6件 ・環境整備事業 0件	中心市街地の賑わい創出、産業振興を図ることを目的に6件の活動が実施され、中心市街地の活性化を図ることができた。	支援内容の見直しを検討しつつ、中心市街地の活性化を図る取り組みを支援していく。	経済観光部	経済・雇用戦略課	182
6	○	街なか居住推進事業費	住まいに関する総合的な相談窓口の設置や街なか居住に関する情報発信、既存ストックを活用した居住に関する支援などを行うことにより、中心市街地への転入促進を図る。	住まいに関する総合相談窓口の設置 ・相談件数82件 ・住まいの情報ネットワークの整備運営 街なか居住推進のための公的支援の実施 ・鳥取市まちなか空き家改修支援事業補助金による支援 0件 ・空き家の担い手育成事業補助金による支援 1件 ・空き家利活用団体支援事業での「とっとり空き家利活用推進協議会」活動の支援 街なか居住体験施設整備運営事業の実施 ・空き家の借上げ及び施設の運営 ・利用実績 7件	第4期鳥取市中心市街地活性化基本計画の目標指標である「中心市街地の45歳未満居住人口(社会増減数)」は、令和3年度以降減少傾向であり、既存の取組の見直しを含め、若年層の居住促進につながる、より効果的な取組の見当を行っていく必要がある。	第4期鳥取市中心市街地活性化基本計画の目標の一つである「若年層のまちなか暮らしの促進」を実現していくため、既存の支援制度などの取組に加え、空き家残置物処分費用に係る支援制度や、街なか居住体験施設の利便性向上に資する取組を講じていく。	都市整備部	まちなか未来創造課	271

No	総合戦略事業	事務事業名	事業の概要 (令和5~7年度)	事業の成果 (令和5年度)	施策への貢献度 (実績)	今後の課題・方向性	部局名	課名	関連事業 (決算事業別概要ページ)
7	○	遊休不動産利活用推進事業費	官民連携にて一定のエリアで集中した事業化に取り組み、エリア価値を高めるとともにその効果を中心に市街地全体に波及させることを目指す。また、まちづくりに関するプレイヤーが活動しやすい環境づくりを行うことで、民間主導の持続的なまちづくりを促進する。	<ul style="list-style-type: none"> 鳥取市まちなか遊休不動産活用マッチング制度等の活用促進に向けたチラシの戸建てポスティング 3,217件 遊休不動産活用における専門アドバイザーの派遣 0件 民間事業者との連携、伴走支援の実施 まちづくりワークショッププログラムの実施 実施期間12月~2月、参加者数延べ90人 リノベーション事業化推進補助金による支援1件 	民間まちづくり会社との連携によるまちづくりワークショッププログラム等を実施し、遊休不動産等の利活用の検討が進められたほか、令和4年度の検討案件について、継続的な伴走型支援に取り組み、具体的な事業化につながった。	遊休不動産の利活用に関する実践的な取組やまちづくりに関するプレイヤーが活動しやすい環境づくりなど、官民一体となったまちづくりを進めていく。	都市整備部	まちなか未来創造課	271
8	○	中心市街地活性化助成事業費	中心市街地区域内における民間イベント等の開催を支援し、中心市街地の集客と賑わい創出を図るほか、中心市街地の活性化に取り組む人材育成につなげる。	鳥取市中心市街地賑わい活力向上事業補助金(賑わい創出イベント開催事業)の交付 <ul style="list-style-type: none"> 補助件数 8件 参加者数 15,071人 	新型コロナウイルス感染症の5類移行の影響もあり、イベントへの参加者数も増加しており、集客による賑わい創出に繋がった。	新型コロナウイルス感染症の影響により減少していたイベント参加者数も回復傾向にある。引き続き、中心市街地エリアでのイベント開催に対する支援に取り組み、賑わい創出につなげていく。	都市整備部	まちなか未来創造課	272
9	○	中心市街地活性化推進事業費	中心市街地活性化基本計画に掲載する事業を推進し、中心市街地の活性化を図る。具体的には、中心市街地に関する市民への情報発信として、エリア情報誌「わかっか」の作成や、来街者の回遊性を高めるためのルートマップ「まちなかマップ」の発行、デジタルサイネージの活用等を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 中心市街地エリア情報誌「わかっか」発行 3回(36,900部) Web「わかっか」投稿 38件 まちなかデジタルサイネージによる情報発信(常設) まちなかマップ発行 3,000部 	SNSをはじめ、様々な情報発信手段を活用し、幅広い世代に対してまちなかの情報を発信することができた。	まちなかの情報を中心に平成22年より継続して発行している中心市街地エリア情報誌「わかっか」をはじめとする各種情報発信方法について、内容の充実や知名度向上を図り、情報発信の効果を高めていく。	都市整備部	まちなか未来創造課	272
10	○	鳥取駅前太平線再生プロジェクト事業費	市道駅前太平線「バードハット」の活用やイベントの経費の補助により、鳥取駅周辺への集客による賑わい創出を図る。	鳥取市中心市街地賑わい活力向上事業補助金(市道駅前太平線賑わい空間活用事業)の交付 <ul style="list-style-type: none"> イベント開催回数 18件 補助件数 4件 参加者数 28,250人 	新型コロナウイルス感染症の5類移行もあり、イベント1件当たりの来場者数は新型コロナ禍以前の水準を取り戻してきており、集客による賑わい創出につながられた。	引き続き、新鳥取駅前地区商店街と連携し、バード・ハットを活用したイベント開催の促進を図っていくが、イベントが開催されていない平日の活用策について検討していく必要がある。	都市整備部	まちなか未来創造課	274
11	○	まち歩き推進事業費(コロナ克服・新時代開拓臨時交付金)	第4期鳥取市中心市街地活性化基本計画で位置付ける「まち歩き推進ゾーン」にて、回遊・滞在性の向上を促進し、まちなかの賑わいを創出する。	<ul style="list-style-type: none"> 中心市街地でのARを活用したまち歩きスポットの構築 3か所 	ARを活用した新たな賑わい創出の取組であったが大きな成果は得られなかった。今後、事業の効果検証を行いながら事業内容の見直しを行っていく必要がある。	新たに構築したARによるまち歩きスポットのPR強化を図りながら事業の効果検証を行っていく。	都市整備部	まちなか未来創造課	273
12	○	鳥取駅周辺にぎわい創出事業費	鳥取駅周辺再生基本構想(第2期)に基づき、鳥取駅周辺の再整備施策の実現に取り組むことで、賑わいの創出と回遊性の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 鳥取駅周辺フリーWi-Fiの利用回数 29,551回 	Wi-Fi環境を整備している4箇所の全スポットにおいて、利用数は増加傾向であり、駅周辺に人が集まる空間づくりの基盤となった。	今後も継続して、鳥取駅周辺の公共空間にWi-Fi環境を提供し、人が集まる空間づくりにつなげていく。	都市整備部	まちなか未来創造課	274
13	○	鳥取駅周辺にぎわい創出事業費(コロナ克服・新時代開拓臨時交付金)	鳥取駅周辺再生基本構想(第2期)に基づき、鳥取駅周辺の再整備施策の実現に取り組むことで、賑わいの創出と回遊性の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 駅前太平線バード・ハットに照明演出設備を設置 	駅前太平線バード・ハットのオープン10周年に伴い、照明演出機能を整備することで、イベント開催の促進効果や夜間の集客効果に期待できる。	新鳥取駅前地区商店街振興組合と連携し、再整備した照明機能を有効活用したイベントや賑わい創出に資する取組を検討、実施していく。	都市整備部	まちなか未来創造課	275

No	総合戦略事業	事務事業名	事業の概要 (令和5~7年度)	事業の成果 (令和5年度)	施策への貢献度 (実績)	今後の課題・方向性	部局名	課名	関連事業 (決算事業別概要ページ)
14	○	鳥取駅周辺憩いのあるにぎわい空間創出事業費（コロナ克服・新時代開拓臨時交付金）	第4期鳥取市中心市街地活性化基本計画で位置付ける鳥取駅前の「まちのエントランスゾーン」にて、駅南北の回遊性向上などにより、市の玄関口としての魅力や機能の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・eスポーツ、キッチンカー出店、ふれあい動物園イベント等の実証事業を開催 ・イベント開催回数 5回 ・アンケート調査 1,752件回収 	これからのまちづくりの拠点として鳥取駅周辺の様々な機能を再構築していくための効果的な計画策定を進めることができた。	実証事業によって得られた意見等を踏まえ、憩いのある賑わい空間を創出するための駅前広場等の整備について検討を進めていく。	都市整備部	まちなか未来創造課	275
15	○	公園整備事業費（コロナ克服・新時代開拓臨時交付金）	中心市街地活性化基本計画に基づき、鳥取駅を中心とした滞在快適性等向上区域の都市公園等のリニューアルを行い、「居心地が良く歩きたくなる」空間づくりを促進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「鳥取駅周辺都市公園のリノベーション検討業務」を実施 	鳥取駅周辺の活性化の推進に資するため、鳥取駅周辺の3つの公園（沢井手公園（鳥取鉄道記念物公園）、高架記念公園、風紋広場）の利活用の促進のための再整備の方向性について検討を行った。	第4期中心市街地活性化基本計画と調整を図りながら、再整備によって3つの公園のそれぞれの魅力を向上させ、異なる魅力を持つ公園の相乗効果により、中心市街地全体への波及を目指す。	都市整備部	河川公園課	280